



愛知県第一高等女学校高等科の頃の永瀬清子と妹・澄子
清子(写真左)と次女・澄子(写真右)は、県一高女の
高等科英語部で学び、三女・妙子は本科で学んだ。



愛知県立第一高等女学校全景と小林校長
「桜の会絵葉書」(愛知県立第一高等女学校和楽会)より
愛知県立明和高等学校同窓会「明和会」提供



愛知県第一高等女学校高等科卒業証書

永瀬清子は、十七歳のとき『上田敏詩集』を読んで詩人
志しました。そして詩を書くためには英語を学びたいと願
い、新設された愛知県第一高等女学校高等科英語部(現・愛知
県立明和高等学校)に進学することができたのです。この学
校で岡山県出身の歌人・石井直三郎や夏目漱石の高弟で英文
学者の中川芳太郎など優れた教員の指導を受けたことは、詩
人・永瀬清子の礎となりました。この展示では、愛知県第一高
等女学校高等科のころの永瀬清子を紹介します。

校名の変遷と高等科について

- 一九〇三年三月 愛知県立高等女学校開校
- 一九一五年四月 愛知県立第一高等女学校と改称
- 一九二二年五月 愛知県立第一高等女学校と改称
- 一九二四年四月 高等科設置(修業年限三か年)
- 一九四七年三月 高等科終結
- 一九四八年三月 愛知県立第一高等女学校終結
- 四月 学制改革により愛知県立第一女子高等学校発足
- 一九四八年十月 愛知県立明倫高等学校との統合により
愛知県立明和高等学校設置

↑ 清子入学



『あゆち』第4号 第18巻第3号(4月号)
愛知県第一高等女学校和楽会
1924(大正13)年4月
愛知県立明和高等学校同窓会「明和会」提供



『かみみ』第4号
愛知県第一高等女学校校友会
1924(大正13)年12月
愛知県立明和高等学校同窓会「明和会」提供
清子が投稿した散文「感傷についての一考
察」が掲載された。



「新築落成祝賀記念絵葉書(3枚1組)」
愛知県立高等女学校校友会
1910(明治43)年12月1日
愛知県立明和高等学校同窓会「明和会」提供

愛知県と永瀬清子のゆかりについて、もっと知りたい方の参考図書(刊行順)



愛知県史編さん委員会編
『愛知県史 資料編35 近代12文化』
愛知県 2012(平成24)年3月
愛知県公文書館 所蔵
清子が県一高女高等科在学中に投稿した
散文「感傷についての一考察」を新発見
資料として収録。



三田村博史『東海の文学風土記』
中日新聞社 2015(平成27)年12月
三田村博史 提供
中日新聞夕刊の連載を書籍化。名古屋
東区に暮らし、県一高女高等科に在学
していた頃の清子を紹介。



溝口常俊編『古地図で楽しむ尾張』
風媒社 2017(平成29)年1月
山下達治氏の「永瀬清子と広小路ライ
オン喫茶店」収録。詩「春になればうぐ
いすと同じに」に描かれた大正末の名
古屋と詩人を志したころの清子を紹介。



愛知県国語教育研究会高等学校部会編著
『あいち文学散歩』発行所 浜島書店
2019(令和元)年5月改訂版
提供 愛知県国語教育研究会高等学校部会
浜島書店 文化のみち二葉館
愛知県立明和高等学校ゆかりの文学者とし
て巻頭カラーで清子を紹介。